

競技上の注意事項

1. 本大会は平成24年度（公財）日本バドミントン協会競技規則および本大会運営規程並びに同公認審判員規程により行います。
2. 試合の進行（オーダー順）は以下の通りです。
女子シングルス1→男子シングルス→女子ダブルス→男子ダブルス→女子シングルス2
なお、予選リーグの対戦は勝敗に関わらずすべての試合を行います
3. 予選リーグはブロック戦とし、各ブロック1位のチームが決勝トーナメント戦に進出します。予選リーグにおける順位の設定は以下の方法で行います。
 - (1) 勝敗による
 - (2) マッチ率による
 - (3) 上記(1)(2)が同率の場合、得ゲーム率
 - (4) 上記(1)～(3)が同率の場合、得ポイント率
 - (5) 上記(1)～(4)が同率の場合、直接対決の勝利チーム※棄権の場合、記録は残しますが、上記(2)、(3)、(4)の計算においては全て21対0の2対0で敗戦したものと扱います。
4. 決勝トーナメントは3マッチ先取で打ち切りとします。
5. 試合時間の30分前にオーダー用紙提出のコールをします。同じグループの試合が行われている場合は、試合終了後にオーダー用紙提出のコールをします。特に指示のない限り、その後10分以内にご提出ください。提出が遅れた場合、「棄権」とみなす場合もありますのでご注意ください。
6. 選手および監督・コーチは、試合時間30分前には競技場で待機し、試合のコール（場内放送）の後、直ちにチームでまとまって指定コートに集合してください。コール後10分を経過しても集合が確認できない場合は「棄権」とみなしますのでご注意ください。
7. 試合の進行状況によっては、試合開始時刻や使用コートを変更することもありますので、場内放送には十分ご注意ください。
8. 各コートバックバウンダリーライン後方にベンチとコーチ席2席を設置します。コーチはマッチ（試合）にふさわしい服装で臨んでください。対戦中にベンチ・コーチ席に入ることが認められるのは、登録した監督・コーチ・選手のみとします。なお、試合前後の整列挨拶は、若番チームが主審の右側エンドとします。
9. 試合前の公式練習では、当該試合の若番チームが若番コートを使用し、両チームが同時に3分間行います。
10. 試合中の怪我等については主審の指示に従ってください。
11. シャトルやラケットの交換、靴ひもの締め直し等でプレーを中断する場合には、必ず主審の許可を得てください。また、試合中の汗拭きや水分補給等は同様に主審の許可を得てください。飲み物は必ず栓が出来る容器を使用し、フロアに水滴がこぼれないように配慮をお願いします。なお、選手の状況等によっては主審が認めない場合もあります。
12. マッチ（試合）中のコートまたはコート周辺でのプレーヤーの携帯電話が鳴った時は、競技規則第16条第6項(4)違反とみなします。
13. 競技規則第16条7項の規定により、以下のような行為は警告、フォルトまたは失格となりますので注意してください。
 - (1) プレーを故意に遅らせたり、中断したりすること。
 - (2) 故意にシャトルに手を加えて破損したりすること。
 - (3) 見苦しい服装でのプレー、審判員や観客に対する横柄な態度など、下品で無礼な態度や言動。
 - (4) コート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や呼び声を発するなど、競技規則を超えた不品行または不快な行動。
14. 審判員の判定に対して疑問のある場合には、当該選手と監督に限り主審に質問することを認めます。ただし、抗議や異議は認めません。
15. 選手は、試合中上衣の背面中央に必ず都道府県名を明示してください。
16. 試合が終わったら、選手は主審と握手を励行してください。
17. 上記の他、監督会議において連絡した内容に従ってください。